

**実施組合** 伊勢形紙協同組合

**事業概要** 当組合のホームページに新たに英語標記のページの追加、お知らせや新しい取組み等の情報発信を組合で隨時更新できるシステムの構築、問合せページの追加等を行うことにより、組合ホームページの情報発信力を強化しインバウンド対策を図るとともに、国内外に対し、伝統的工芸品である伊勢形紙の文化、伝統的技術・技法等、また当組合の事業活動や組合員についてPR及び販売促進に努めました。これにより、ホームページによる情報発信力の強化や組合並びに組合の事業活動の知名度向上が実感でき、今後の組合の事業活動の活性化が期待できます。



**成果等** 組合員においては、組合員のアドレス・URLを追加等することにより、外国からの組合員のホームページの閲覧数が増加する等、組合員名や組合員の取り扱う商品等の知名度向上や、組合員の取り扱う商品等の魅力発信、販売促進に繋がりました。組合においては、組合ホームページの情報発信力を強化することができ、外国からの組合ホームページ閲覧数、鈴鹿市伝統産業会館への集客数や売上、問合せページを通じた問合せ等が増加し、組合並びに組合の事業活動の知名度向上に繋がりました。今後は、組合の事業活動等に係る最新情報を迅速かつ積極的に情報発信することが可能となり、さらなる事業活動の活性化に繋がることが期待できます。

業界まめ知識

教えてください

石油のこと

業界  
まめ知識

10

今日は、石油について  
三重県石油業協同組合さんに教えていただきました。



石油はどのように誕生したのですか？

A 石油のもと（源）は、海や湖で繁殖したプランクトンや藻等の生物体の死骸とされています。それらが土砂とともに水底に堆積して岩石になる途上、その中の石油を生み出すのに適した有機物が重合して、「ケロジエン」（母油）と呼ばれる複雑な高分子化合物になります。

石油はこのケロジエンと呼ばれる泥岩が地中深く堆積するとき、地熱の作用を受けてケロジエンが熱分解し、石油系炭化水素となったものと考えられています。

これが、有機成因説の中でも「ケロジエン根源説」と呼ばれるもので、石油誕生の最有力説となっています。



石油製品の1つであるガソリンの税金はどのようにになっていますか？

A ガソリン小売価格の約半分が税金です。

現在、ガソリン税には1リットル当たり53.8円のガソリン税、2.8円の石油税がかけられています。

例えば、ガソリン小売価格（消費税込み価格）が154円の場合、ガソリン本体価格83.4円に対して ガソリン税、石油税、消費税を含めて、税が70.6円となり、45.8%が税金です。

ガソリンが生活必需品となっているのにもかかわらず、たばこやビールなどの嗜好品よりも高くなっているのです。バスやトラックの燃料である軽油にも1リットル当たり32.1円の軽油取引税と2.8円の石油税、8円の消費税がかけられています。

